

錦城山プロジェクト7年目の取り組み

～加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019～

石川県立加賀聖城高等学校

教諭 小谷 邦博

1. はじめに

本校では、6年前より「錦城山プロジェクト」に取り組み、「総合的な学習の時間」を中心に地域学習に取り組んできた。本年4月、この地域学習において、生徒から「大聖寺藩の参勤交代を再現してみたい!!」との声があがった。そこで、本校生徒の夢を実現するために、本校は地域社会に呼びかけをし、「加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019」の活動が始まることになった。

2. 取り組み

- (1) 「加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019」実行委員会発足集会の開催 (7月12日)
本校生徒・教職員、OB、歩行に賛同する一般市民約50人の参加の下、実行委員会が発足した。本校生徒が参加への決意表明を行い、家庭科の授業で製作した「たすき」を贈呈した。
- (2) 「参勤交代うおーく練習歩行会 (金沢～動橋 42.5km)」 (9月2日)
生徒2人の他、教職員・一般参加者・ののいち里まちガイド・金沢大生等、総勢42人が、香林坊から動橋までの旧北陸街道42.5kmを、約10km毎4区間に分け、たすきリレーで完歩した。
- (3) 「参勤交代モザイクアート」製作 (9月8日)
今年の聖城祭の目玉として、「参勤交代モザイクアート」の製作に取り組んだ。3日間かけ、全校生徒が力を合わせ、全部で87500個の小さなマス目をフェルトペンで一つ一つ塗りつぶして仕上げた。生徒会長の「みんなで頑張ろう」という声かけが、生徒の心を一つにした。
- (4) 「参勤交代うおーく練習歩行会 (動橋～大聖寺 9.7km)」 (11月5日)
創立記念日に合わせ、動橋から大聖寺約9.7kmの練習歩行会を実施した。生徒4人の他、21人が参加。一般参加の埼玉県「花の山を登る会」4人の方と交流しながら、楽しく歩行できた。
- (5) 地元和菓子店とコラボしての「参勤交代記念和菓子」づくり (11月27日)
「参勤交代うおーく」開催を記念して、商業科目「商品開発」受講者2人と地元和菓子店がコラボし和菓子づくりを始めた。この日は、加賀棒茶など4つの味をテイस्टィングした。
- (6) 「参勤交代うおーく 2019 応援団」藍染め手ぬぐい製作 (12月1日)
10～20代の若者で組織した「参勤交代うおーく 応援団」の藍染め手ぬぐいづくりに、本校生徒も加わった。若い社会人の先輩たちと一緒に活動できることを生徒は大変喜んでいて。
- (7) 加賀三高への「参勤交代うおーく」参加呼びかけ (12月11日)
加賀四高「加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019」打ち合わせ会を開催し、本校生徒会長が、大聖寺・大聖寺実業・加賀の生徒会に対し、「参勤交代うおーく」への参加の呼びかけを行った。
- (8) 「参勤交代うおーく」連続パネル展開催 (10月～3月)
「錦城山プロジェクト」の活動や「参勤交代うおーく」の活動についてまとめたパネルの展示会を、10月より計10回連続して開催し、本校の教育活動についても広く広報している。

3. まとめ

次期教育課程への移行にともない、「社会に開かれた教育課程」の重要性が叫ばれている。本校においても、「学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現」させていくことが課題となっている。そのような中で、本年7～8月にかけて実施する「加州大聖寺藩参勤交代うおーく 2019」の取り組みは、本校にとってきわめて重要な取り組みといえる。地域社会との連携をより一層深め、取り組みの成功を目指したい。